

# 市長就任の「あいさつ」

私は、先の市長選挙におきまして、市民の皆様をはじめ、各方面の方々からのご推薦と力強いご支援をいただき、引き続き市政の重責を担わせていただくこととなりました。課せられた使命と責任の重さに、改めて身の引き締まる思いであります。

これまでの4期16年間を振り返りますと、1期目には「新しい挑戦」、2期目には「いざ！次のステージへ」、3期目には「未来につながる確かな実感」、そして4期目は「我がまち大野城 未来づくり宣言」を掲げ、「つながるふるさと。ーみんなが主役ー」のテーマのもと、約束した施策に取り組んでまいりました。



5期目となるこれからの4年間は、「愛郷」と「献身」の想いを再び心に刻み込み、ふるさと大野城のさらなる発展と、将来にわたって活気あふれるまちを創るため、『ふるさとを未来につなぐUrban(エム・プラン)』を掲げ、今を生きる市民の皆様への行政サービスはもろろんのこと、100年先の世代にも喜んでいただけるように、「心豊かに育つまちづくり」「安全で安心なまちづくり」「健やかに暮らせるまちづくり」「魅力輝くまちづくり」の4つのまちづくりに、覚悟と信念を持って取り組んでまいります。

昭和47年4月1日に市制を施行し、大野城市は来年、市制施行50周年を迎えます。ふるさと大野城において、市民と行政が糸を纏るように紡ぎあげてきたこの半世紀は、コミュニティ都市としての発展の歴史でもあります。

「歴史を受け継ぎ 未来へつなげる まどかな市」、この50周年記念事業のキャッチフレーズには、先人たちが積み上げてきた「これまで」のまちの歴史を振り返りつつ、「これから」の50年、100年先の未来を見据えて、新たなまちづくりに向けた力強い一歩を踏み出していく、そうした想いが込められています。

先人たちから受け継ぎ、創り上げてきたこのコミュニティ都市、そして、ふるさとを愛し、守り伝えていこうとする地域住民の愛郷心など、今後もあることなく、将来へとつなげていかなければならないものがあります。

その一方で、新型コロナウイルス感染症を想定した「新しい生活様式」への対応など、時代や社会情勢の変化に応じて、変えていかなければならないものもあります。

「不易流行」という松尾芭蕉が提唱したと言われる俳諧理念があります。が、いつまでも変わらない本質的なものを大切にしながらも、新しい変化を取り入れていく、今まさに時代の転換点に立つ私たちにとっても重要なことでもあります。生まれ育ったこのまちや今暮らしている地域への愛着や誇りを原動力に、変わることを恐れるのでは

なく、変化を先取りして自ら行動を起こす中で、「新たな価値」を創出していく、それが今を生きる、私たちの使命であると思います。

私も、改めて「一眼は遠く歴史の彼方を、そして一眼は脚下の実践へ」を座右に置き、「ふるさと大野城」の行く末を見据えながら、本市が誇る多彩な市民力と多様な職員力を結集し、先手先取の気概を持って、市政運営に邁進していく所存です。

今後とも、格段のご支援とご協力を心からお願ひして、5期目のスタートにあたっての私の就任のあいさつといたします。

大野城市長 井本宗司



所信表明全文  
(令和3年9月  
定例会本会議)



市制50周年記念キャッチフレーズ・シンボルマーク表彰式

## 井本宗司 (いもと むねじ)

### 市長のプロフィール

昭和27年4月2日 筑紫郡大野町（現在の  
大野城市）瓦田生まれ（69歳）

◇大野小学校・大野中学校・筑紫丘高校・  
早稲田大学政治経済学部卒業

◇昭和52年（財）九州生産性本部入社

◇平成3年 福岡県議会議員初当選  
（以後、4期14年務める）

◇平成15年5月 第56代福岡県議会議長  
に就任（平成17年2月まで務める）

◇平成17年7月 福岡県議会議員を辞職

◇平成17年9月 大野城市長に初当選

◇令和3年9月 大野城市長に5選